

科目番号	23079	分類	専門分野	履修者	東が丘・立川看護学部	学年	1
科目名	日常生活援助展開実習 (Clinical Practice in Fundamental Nursing Skill)						1
							配当セメスター
							後期
担当者	○松山 友子 穴沢 小百合 高橋 智子 川崎 香織 寺山 明香 三浦 彩子 ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○ ○○ ○○○○	区 分	必修	単 位	1	時 間 数	45
授業の概要および目標							
<p>【概要】</p> <p>入院患者を受け持ち、基本的ニーズの充足状況の判断に基づく援助を通し、学内の講義・演習で学習した対象への日常生活援助に関する知識・技術・態度の統合・向上をはかる。また、今後の看護学の学習に向け、看護実践能力獲得の視点から自己の課題を明確にする。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受持ち患者に対し、収集した情報に基づき基本的ニーズの充足状況を判断する。 2. 受持ち患者の基本的ニーズの充足状況に応じ、既習の看護技術を適用して日常生活援助を実施する。 3. 患者の個別性に応じて看護技術を適用する方法を学ぶ。 4. 看護を実施する過程を通して患者の反応を観察する方法を学ぶ。 5. 看護における日常生活援助の意義を考察する。 6. 看護実践能力獲得の視点から看護職としての専門的態度について理解を深める。 							
授 業 計 画							
<p>実習期間：平成30年2月19日(月)～2月23日(金)</p> <p>実習施設：独立行政法人国立病院機構 東京医療センター</p> <p>実習方法：入院患者を受け持ち、基本的ニーズの充足状況の判断に基づき、日常生活援助を計画、実施、評価する。実習記録やカンファレンス、レポートを通し、学習内容を整理し、深化させる。</p> <p>主な実習内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受け持ち患者の身体的・心理的・社会的状態に関する情報収集 2) 受け持ち患者の基本的ニーズの充足状況の判断に基づく日常生活上の問題点とその根拠の明確化 3) 看護技術の原理・原則、受け持ち患者の個別性、安全・安楽・倫理的配慮を加味した援助計画の立案 4) 援助計画の実施における患者の反応の実際とその重要性 5) 援助計画・実施に対する評価の視点とその重要性 6) 患者の個別性に応じた看護を展開する重要性 7) 看護師が日常生活援助を行う意義 8) 看護職としての専門的態度 							
事前・事後 学習	事前課題：実習要項、オリエンテーション資料を参照する。 事後課題：オリエンテーション資料を参照する。						
評価の方法	実習評価表(行動目標；最終レポートも含む)に基づく到達度評価 100%						
参考図書・資料等	◎ヴァージニア・ヘンダーソン著/湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの 再新装版，日本看護協会出版会，2016.						
履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護学概論」「看護実践技術論Ⅰ」「ヘルスアセスメント」「看護学体験実習」の単位を取得している。 ・「看護実践技術論Ⅱ」「看護実践技術論Ⅲ」「フィジカルアセスメント」の単位を取得見込みである。 						
備 考	実習参加や評価等に関する詳細は、実習要項、オリエンテーション資料を参照する。オフィスアワーについては、履修案内を参照し、教員と事前に日程調整する。						